

安価な全方位カメラで目に見えない情報も含む高精度な大規模3Dマップを作成します 空間データ基盤～安価に大規模3D化～

背景 - 技術課題

従来、建造物のスキャンに使用されるLiDARは正確かつ高速でしたが、非常に高価であり導入ハードルが高いという課題がありました。一方で、カメラを使ったスキャンは安価なもの、特に大規模な環境では画角が狭いと撮影に手間がかかりすぎる、復元精度が低くなる、処理時間が長くなりすぎるといった課題がありました。



研究目標 - 成果

低コストかつ簡単にビルや駅などの大規模環境の高精度な3Dモデルを短時間で作成可能にします。さらに電波や温度などの見えない情報も可視化し、通信や建設の効率化をします。

技術ポイント

01 要素技術

- 大規模環境の高精度かつ高速な復元に対応した大規模環境3Dスキャン技術
- 電波／温度などの非可視情報3Dスキャン技術

02 市中技術差異点

- LiDARと比較して大規模なシーンを誰でも簡単かつ視認性の高い3D復元が可能
- 従来のカメラを使ったスキャンと比較して高速かつ高精度な3D復元が可能
- 電波、温度などの見えない情報も可視化

利用シーン 建設・不動産

R&Dフェーズ ビジネス展開

【出展企業】
株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部

【問い合わせ先】
サービスイノベーション部 先進技術推進担当

【共同出展社/社外連携先】

-

【関連Link】

-